

質問・意見書（第3回上尾市総合計画審議会）に対する回答一覧

令和2年7月行政経営課作成

No.	委員からの質問内容	該当番号	回答	
1	施策1生涯学習の促進 「教育機関・民間企業等と連携・協働して、より高度化・専門化した学習機会を提供します。」とありますが、高度化・専門化した学習は、教育機関・民間企業に委ねればよいのではないのでしょうか。行政資源の有限性から、生涯学習に対する市の役割は限定的でも良いのではないのでしょうか。	資料2 3ページ	「高度化・専門化した学習」の文言については、削除する方向で調整します。	平会長
2	テーマをめぐる社会的状況 『「自助」「共助」「公助」の理念』とありますが、これらは理念ではなく別の用語・表現を用いた方が良いと思います。	資料2 4ページ	再度内容を検討いたします。	平会長
3	<地域防災力> 「市では、住宅都市という地域特性から、昼間人口の減少が顕著であり」→「市では、住宅都市という地域特性から、昼間の人口は夜間に比べて大幅に少なく」	資料2 4ページ	ご指摘いただきました内容に改めます。	平会長
4	施策2防災体制の強化の取組の方向性で、担当部署が示されていない箇所があります。	資料2 4ページ	担当部署は、「危機管理防災課」となりますことから、加筆いたします。	平会長
5	施策1防犯活動の推進 「有害な情報や環境などから青少年を見守る活動を実施」→「有害な情報や環境などから青少年を 守る 活動を実施」	資料2 6ページ	担当部署と調整し、修正いたします。	平会長
6	テーマをめぐる社会的な状況 「少子高齢化と人口減少が進む中、鉄道やバスといった公共交通は、人々の生活に不可欠な移動手段となっています。」とありますが、人口減少に関係なく、公共交通は不可欠だと思います。ただし、高齢化に伴い運転免許を返納する人が増えますので、高齢者にとって公共交通は不可欠と言えます。	資料2 7ページ	担当部署と調整し、修正いたします。	平会長
7	<救急体制> 「誰もが使用できるよう環境づくりを進めていきます。」は、現況と課題に合った表現に修正する必要があります。	資料2 8ページ	「誰もが使用できる環境づくりが 必要となっています。 」に修正いたします。	平会長

No.	委員からの質問内容	該当番号	回答	
8	住環境のテーマをめぐる社会的な状況と現況と課題、取組の方向との関係が必ずしも明確ではありません。持続可能性という観点からは、団地の建替えという課題があると思います。	資料2 9ページ	ご指摘の件を受け、再度検討いたします。	平会長
9	施策1 ごみの減量化促進と適正なごみ処理 プラスチックごみの問題が世界的に注目されており、少なくとも、市民に対する啓発活動が必要だと思います。	資料2 10ページ	プラスチックごみの表現も盛り込めるように担当課と調整いたします。	平会長
10	「持続可能な行政経営」⇒「持続可能な都市経営」	資料2 14ページ以降	資料2に記載の大項目名が修正されておりましたので、修正いたします。	平会長
11	施策3 河川の適切な整備と維持管理「国・県が管理する河川については、計画的な整備を促進していきます」の主語を明確にする必要があると思います。主語が上尾市であるならば、言葉を補ってわかりやすくする必要があります。	資料2 12ページ	担当部署と協議し、文言の調整をいたします。	平会長
12	施策2 広聴活動 公聴活動として、公聴会やタウンミーティングなど直接市民の声を聴くしくみづくりを期待したいと思います。	資料2 14ページ	担当部署にご意見をお伝えいたします。	平会長
13	《土地利用状況》 「都市のスポンジ化が懸念され、インフラの老朽化が進む中、コンパクトシティの考えに基づいて都市機能を集約し、住民の利便性向上や効率的な維持管理を図ることが必要です。そのためには、上尾市都市計画マスタープランで定められた土地利用の実現を目指し、建築物の建築等を用途地域に沿って適切に誘導することが必要です。」とありますが、都市機能を集約すると、距離が遠くなることにより、必ず一部の市民の利便性が低下します。また、前半と後半の関係がよくわかりません。	資料2 19ページ	担当部署と協議し、文言の調整をいたします。	平会長

No.	委員からの質問内容	該当番号	回答	
14	<p>コロナ禍により、総合計画策定は、背景ではなく事業レベルから変化が生じる可能性が高い。企業や税収への影響も現状追い切れない上、国の第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略も方向性修正の可能性がある。感染症対策のKPIとして、3密を避けることのできる避難所数等も盛り込む必要が考えられるが、そのためのエビデンスも出そろってはいない状態であり、策定スケジュールを見直すべきとの意見が他市の議員と連携を図る中で出てきた。「半年から1年程度先送りとすべきでは？」と本市に質問したところ、議会答弁で「コロナ影響により、スケジュールや盛り込むべき内容の見直しの必要性を認識している。これまでになかった今回のコロナウイルス感染症への対応を通して得た経験などを施策にどう反映させるか、今後、審議会等に諮り、検討したい。策定期間は、当初12月の完成を予定していたが、スケジュールや内容の見直しなどに時間を要することから、柔軟に対応したい」との事であった。策定期間の変更および施策への反映について見解を伺う。また、策定期間を延期する事には、副次的効果として本審議会において全体像を練り直す時間を得るメリット等もあると思われるが、一方で計画の実施時期が遅れた場合、問題は何か考えられるか。</p>	参考資料2	<p>策定期間の変更および施策への反映については、現段階で国等が示している新型コロナウイルス感染症に関する各種方針を踏まえ、可能な限り総合計画の内容に反映させている最中です。策定期間は、現段階では当初の予定のまま進めていきたいと考えております。</p> <p>また、計画の策定期間を延期した場合、想定される問題としては、年度内に策定できれば大きな問題点はございませんが、年度をまたいで延期となると、印刷費用等の契約の問題のほか、同時期に策定される他の分野別計画にも影響がでることがあると思われます。</p>	尾花委員
15	<p>都心に1時間で通えるエリアの居住需要がやや変化しており、民間データによると今年1月と5月での検索数が上がった地区ランキングで本市は中古マンションが全都道府県で16位（124.3%）。「地域の社会経済構造そのものを感染症リスクに対しても強靱なものへと改革する」ことを推進する観点から、「地域未来構想20」が内閣府から示されているが、近郊外の価値が再考されている現状において、内閣府が想定している20の政策テーマを改めて反映する考えはあるか？</p>	資料1	<p>今回の総合計画には、新型コロナウイルス感染症を受け「新しい生活様式」など国の指針を基に、現段階で可能な限り反映させているところで。 「地域未来構想20」についても、反映できるものは反映していきたいと考えております。</p>	尾花委員
16	<p>防災面での「地域の共助体制づくり」は大切な視点ですが地域特性によってアプローチが違ってくると思います。戸建て地域集合住宅タワマン上尾市では自主防災組織は自治会対象なののでしょうか。マンションの場合必ずしも自治会の組織がない場合もあり「運命共同体」としては管理組合と行政がつながるほうが自然の場合もあります。</p>	資料2 4ページ 「防災」	<p>本市の自主防災会は、市内117の自主防災会があり、大型マンションの場合は、マンション毎に自主防災組織を立ち上げております。</p>	土橋委員
17	<p>市民向けの「オープンデータ提供」の促進を図るべきだと思います。提供する体制を市独自で運営するのは大変であり、現在のように県のサイトと連動してのシステムで問題はないと思います。しかし利用促進の啓発については、市独自の活動があっても良いと思います。 例）地域の世帯統計情報を美容院がチラシ・SNS企画の参考にする。</p>	資料2 14ページ 「行政運営」	<p>担当部署と協議し、検討してまいります。</p>	土橋委員
18	<p>フォーマットを統一しては？ 現況を簡潔に記載したほうが解り易いと思います。 課題については、「…必要があります」「…ことも重要です」「…対策が求められます」「…が課題となっています」等の記載が有るので、何が解決すべき課題なのかが不明瞭だと感じます。フォーマットを統一することにより、読者が理解し易くなるのではと思います。</p>	資料2 現況と課題	<p>フォーマットの統一を行います。</p>	細野委員
19	<p>現況と課題を分けて簡潔に記載したほうが良いのでは？</p>	参考資料1 現況と課題	<p>内容を整理し調整いたします。</p>	細野委員

No.	委員からの質問内容	該当番号	回答	
20	「取組の方向」と「主な事業・取組」との階層の違いを説明して下さい	資料2 参考資料1 取組の方向	参考資料1のように完成版としては、資料2にある「取組の方向」を基に、大枠としての「取組みの方向」とそれに向けて実施する「主な事業・取組」とに階層を分けて記載していきたいと考えております。	細野委員
21	大項目2. 人生が楽しめるまちづくり 中項目2. 学び、創造1生涯学習活動の推進 2. 文化・芸術活動の支援の部分について 2項目しかないが、上尾市は図書館サービス計画も持ち、今後、上平に分館も計画中である。本館と分館の充実を進めるためにも、図書館は生涯学習のくくりではなく、一つ中項目として立てることは可能でしょうか？	資料2 P3	項目立てしているのは、あくまでも施策レベルであり、他の項目とのバランス、統一感も考え、現状のままとさせていただきたいと思います。	平田委員
22	大項目5. 安全な暮らしを守るまちづくり 1. 防災2. 防犯、3交通4. 消防の順番ですが、1と4は、密接に関係しているので、防災、消防、防犯、交通の並びがいいのではないのでしょうか？	資料1 資料2 P4～8	施策の順番については、新型コロナウイルス感染症の影響により、変更等があるかもしれませんので、頂戴したご意見も参考に、調整してまいります。	平田委員
23	大項目6. 快適に過ごせる環境と共生するまちづくり 中項目2. 「環境」 SDGsから考えると「地球温暖化対策等の推進」は、温暖化だけではないので「地球環境の保全」にしてはいかがでしょうか？	資料2 P10	「地球環境の保全」の取組みの一つとして、「地球温暖化対策」が挙げられますが、海や山などがない本市としては「地球温暖化対策」が直接的に関係してくる事項であることから、その言葉を出すことで明確化した方が良く考えております。	平田委員
24	大項目6. 快適に過ごせる環境と共生するまちづくり 中項目3. 道路河川 道路の適切な維持管理、道路の計画的な整備は、ハード面のみです。安全で快適な道という観点が必要ではないか。事故が多い上尾市であり、人と環境にやさしい道路の視点がほしいと考えますが、いかがでしょうか？	資料2 P12	施策6－3「道路・河川」には、「テーマをめぐる社会的な状況」において、「安全性や快適性に配慮した整備」を掲げており、また、施策2「道路の計画的な整備」の4つ目のポツ箇所「バリアフリー化の推進」を記載しております。 また、交通安全としては、別途、施策5－3「交通」箇所に記載しているところです。	平田委員